

プロフィール	
活動地	愛媛県西予市
氏名	幸田 裕司
活動名称	「障がい児者スポーツの支援・普及」
PRポイント	障がい者スポーツ全般の支援とメンタルケアに関する普及
連携している団体等	保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専修学校・各種学校、PTA、社会教育関係団体、スポーツ団体、NPO 法人、社会福祉法人、企業・事業所、病院・保健所、行政(教育委員会、保健・福祉部局、スポーツ部局)

功労者表彰

活動分野
スポーツ
主な対象
障害種問わず

活動の説明

①活動内容	<p>【障害者スポーツ大会正式種目（精神障害者バレーボール他）】 平成16年より精神障害者バレーボールの普及・発展や選手の育成・指導を目的に毎月1~4回活動しています。愛媛県強化チームの監督として、編成・指導・育成に関わり、2度の全国障害者スポーツ大会（長崎がんばらんば大会、えひめ大会）に出場しました。その後、パラスポーツコーディネーターとして指導助言を行っています。</p> <p>【障がい児者フットサル交流会】 障がいの有る児童生徒に向けた運動療育として、地域や年齢を問わず地域で生活している発達障がいを有する子どもたちを中心に、毎月1回行っています。現在では、発達、知的、精神、身体（肢体）、ダウン症の幼児から青年までの当事者や家族が参加することができる活動になっています。</p> <p>【講演会・研修会】 障がい児者の支援や障がい特性の理解に向けた講演会や研修会での講師依頼を受け、行政職員や医療福祉専門職、障害者家族会、保護者、教員向けに、勉強会や学校保健委員会、人権教育研修会などで講師をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成講座（事業所・施設に所属する介護福祉従事者を対象） ・こころの健康教育（老人クラブ会員、保健推進員、民生児童委員、保健推進員を対象）など
②活動の経緯・体制	<p>【精神障害者バレーボール】 平成16年、当時精神障害者唯一の競技スポーツであるバレーボール競技が、他の障害者スポーツの普及や実践と大きな差が見られたことから、その当時の勤務先である精神障害者関連施設の地域活動として関わり始め、平成26年1月に愛媛県強化チームの監督となりました。</p> <p>【障がい児者フットサル交流会】 平成21年、教育委員会スクールソーシャルワーカーとして学校現場に関わる中で、「障がい児」がスポーツをすることができる環境が少ないと感じていたことから、地域と連携して「フットサル交流会」に取り組んできました。</p>
③活動の効果等	<p>障がい児者がスポーツをすることやスポーツをする場ができたことで、健康維持・体力向上はもちろん、自立心や生活力の向上を促し、重ねて、コミュニケーションのスキルアップをしながら地域生活・学校生活等を送ることに繋がっています。また、保護者や支援者・関係者、地域住民に対して障がい児者スポーツを紹介する機会やボランティアとして関わる機会の提供にも繋がっており、障がいへの理解、障がいのある人への認識を深めて、共生社会の構築を目指しています。</p>

活動の様子

	
精神障害者バレーボール	ゲートキーパー養成講座